

情勢・環境の変化に柔軟に対応し、 社会保障に係る保険者業務を総合的に支援する



鹿児島県国民健康保険団体連合会
理事長 前田 祝成

新年あけましておめでとうございます。令和6年を迎え、謹んでごあいさつ申し上げます。

皆様方におかれましては、平素より国民健康保険事業ならびに介護保険事業の円滑な運営にご尽力されていることに、深く敬意を表しますとともに、本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年11月に特定健康診査結果の個人情報流出する情報セキュリティ事故を起こしました。鹿児島市国民健康保険の被保険者をはじめ関係の皆様にはたいへんご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

早速再発防止策を講じたところでございますので何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、『経済財政運営と改革の方針2023』においては、これからも続く「超高齢社会」に備えて持続可能な社会保障制度を構築する必要がある、現

役世代の消費活性化による成長と分配の好循環を実現するためには、医療・介護等の不断の改革により、ワイズスペンディングを徹底し、保険料負担の上昇を抑制することが極めて重要であるとされております。

このため、一人当たり医療費の地域差半減に向けて、都道府県が地域の実情に応じて地域差がある医療への対応などの医療費適正化に取り組み、引き続き都道府県の責務の明確化等に関し必要な法制上の措置を含め地域医療構想を推進するとともに、都道府県のガバナンス強化を図るなどの方針が示されました。

また、医療DX推進に向けた取組については、マイナンバーカードによるオンライン資格確認の用途拡大や正確なデータ登録の取組を進め、2024年秋に健康保険証を廃止することが明記されております。

本会といえども、これら国の動

向を踏まえ、保険者がこれまで以上に効果的で効率的な施策を実施・展開することができるよう、次期中期経営計画では「課題解決に向けた具体的提案ができる活力ある組織」をビジョンに掲げ、今後の将来像を長期的視点で捉え、組織力の強化を図り役職員一体となつて全力で支援してまいります。

また、診療報酬等の審査基準の統一化と審査結果の差異解消に向けた取組を加速し、ICT等を活用した審査や事務共助に努めるなど、さらなる医療費の適正化を目指します。

さらに、各システム等を活用したデータの分析や評価に係る支援、テレビ番組等を活用した健康づくり等の広報、保険者事務の効率化を図るための電算共同処理や第三者行為求償事務、介護給付費適正化事業等、保険者に共通する事務処理等の一元的実施についても充実を図ってまいります。

加えて、国の進めるデジタル化等への取組について、必要な財源確保に向け、国に対し引き続き要望してまいります。

結びに、本年も本会へのさらなるご理解、ご協力を心からお願い申し上げますとともに、皆様方にとつて実り多き年になりますようご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

令和6年 元旦

皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

鹿児島県国民健康保険団体連合会

理事長 枕崎市長 前田 祝成

副理事長 肝付町長 永野 和行

常務理事 学識経験者 塩田兼一郎
(職務代理者)

理事 出水市長 椎木 伸一

理事 薩摩川内市長 田中 良二

理事 霧島市長 中重 真一

理事 始良市長 湯元 敏浩

理事 三島村長 大山 辰夫

理事 湧水町長 池上 滝一

理事 瀬戸内町長 鎌田 愛人

理事 徳之島町長 高岡 秀規

理事 県医師会保組合理事長

監事 南九州市長 池田 琢哉

監事 大和村長 伊集院 幼

監事 鹿児島県国民健康保険診療報酬審査委員会

会長 花田 修一

会長職務代行者 牟禮 洋

会長職務代行者 堂原 義美

会長職務代行者 外審査委員一同

介護医療部会 野村 秀洋

部会長 外委員一同

鹿児島県国民健康保険診療施設協議会 鈴木 済

会長 外役員一同

鹿児島県国民健康保険診療施設協議会

会長 鈴木 済

外役員一同

外役員一同

外役員一同

健康で長生きできる社会の実現を目指す



鹿児島県知事 塩田 康一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

各保険者及び鹿児島県国民健康保険団体連合会の皆様には、日頃から国民健康保険事業及び介護保険事業等の円滑な運営に多大な御尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

本県においては、2040年に医療・介護双方のニーズを有する85歳以上の高齢者が約14万7千人とピークを迎え、2020年比で約1.4倍に増加する見通しである一方、15歳から64歳までの生産年齢人口は急激に減少していくことが見込まれております。

国民健康保険制度につきましては、被用者保険に比べ、年齢構成や医療費の水準が高く、小規模保険者が多いなどの構造的な問題を抱えており、持続

可能な医療制度を構築すること等を趣旨として、平成30年4月から県が財政運営の責任主体となり、中心的役割を担っております。

県としては、引き続き「県国民健康保険運営方針」に基づき、市町村と一体となつて保険給付の適正化及び国民健康保険制度の安定的な財政運営に努めるとともに、特定健康診査等の受診率向上や生活習慣病の重症化予防等に係る広報・啓発活動等に取り組み、県民の皆様の健康の保持増進を推進してまいります。

介護保険制度につきましては、市町村と連携しながら、地域の人口動態や介護ニーズの見込みを踏まえた介護サービス基盤の整備、介護予防、認知

症施策、訪問看護介護などの在宅サービスの提供体制の整備等に取り組むとともに、介護人材の確保のため、介護

従事者の処遇改善やICT、ロボットの導入による生産性の向上による介護現場の環境改善に取り組んでおります。

今後とも、高齢者の健康づくりや社会参加の促進など「高齢者が生きいきと・安心して・支え合つて暮らせる長寿社会づくり」に積極的に取り組んでまいります。

県民の皆様の健康づくりにつきまして、本県においては、心疾患や脳血管疾患などの循環器病による死亡が全死因の約4分の1を占めることから、「県循環器病対策推進計画」に基づき、循環器病の予防等に係る普及啓発のほか、医療従事者向け研修会の開催などの施策に取り組んでおります。

また、県の健康増進計画である「健康かごしま21」において、健康寿命の延伸、生活の質の向上を目標に掲げ、生活習慣病の発症及び重症化の予防などのため、地域・職域・学域や関係機関・団体等と連携し、生活習慣の改善を呼びかける普及啓発や健康づくりを支援

する社会環境の整備等に取り組んでおります。

県としては、現在、「県国民健康保険運営方針」や「県高齢者保健福祉計画」、「健康かごしま21」など各種計画の見直しを行っており、今後とも、健康で長生きできる社会の実現を目指し、全力を挙げて疾病・介護予防及び健康づくりの推進に努めてまいりますので、鹿児島県国民健康保険団体連合会におかれましては、国民健康保険事業及び介護保険事業をはじめ、県政各般の施策の推進に一層の御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、各保険者及び鹿児島県国民健康保険団体連合会の御発展と皆様の今後ますますの御健勝・御活躍を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶いたします。

令和6年 元旦

年頭のご挨拶



国民健康保険中央会

会長 岡崎 誠也

新年あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

皆さまには日頃から国保中央会の運営に対しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、少子高齢化の進展に伴う生産年齢人口の減少や物価の高騰など、我が国の社会保障の根幹を成す国民健康保険事業や後期高齢者医療事業、介護保険事業、障害者総合支援事業等を取り巻く環境は厳しさを増しております。

本会においては、昨年3月に策定した「国保連合会・中央会のめざす方向2023」でも明らかにしたとおり、医療・保健・介護・福祉の総合的・専

門的機関として、国保連合会とともに、都道府県、市町村等の業務を幅広く支援してまいります。

令和6年においては、第一に、「審査支払機能に関する改革工程表」に基づく取組として、クラウドへの移行や受付領域の支払基金との共同利用を内容とする次期国保総合システムが4月より稼働することとなるため、本会は、システム更改後の安定稼働に努めるとともに、システムの最適化による保守・運用費の削減に全力で取り組んでまいります。

また、審査・支払領域の支払基金との共同開発・共同利用についても実現に努めてまいります。

第二に、医療DXの推進として、全国医療情報プラットフォーム構築の基盤

となるオンライン資格確認等システムについて、引き続き、支払基金とともに、システムの開発・運用に携わり、安定的な稼働に寄与していくとともに、マイナンバーカードと健康保険証の一体化の対応を進めてまいります。

また、全国医療情報プラットフォームのうち、介護や予防接種など、地方自治体の業務に関わりの深い分野については、国保連合会及び本会が中心となつて、全国で介護等の情報を共有・交換できるシステムの開発・運用を担っていくこととしております。

第三に、KDB（国保データベース）システム等を活用し、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の三地域保険が一体となった予防・健康づくり事業の充実に取り組んでまいります。

令和6年度からは第4期医療費適正化計画や第3期データヘルス計画等が開始されますが、KDBシステム等を活用した健康・医療・介護情報の分析・評価や保健事業支援・評価委員会による助言などにより、国保連合会の支援を通じて、保険者の取組に引き続き協力してまいります。

このように新しい年においても多くの重要な課題に直面しておりますが、全

国の国保連合会や全国知事会、全国市長会、全国町村会をはじめとする地方団体、国保組合、後期高齢者医療広域連合などの関係団体とも十分に連携を図りながら、保険者等の皆様の業務支援に総力をあげて取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となることを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和6年 元旦

